

月日 (校時)	価値内容	教材名
7月16日(火) 1/2 17日(水) 2/2 3校時	自己、他者	ふしぎなことってどんなこと？
<p>◆教科等との関連</p> <p>○国語科：「もうすぐ雨に」9H*「不思議な出来事」が起きる本の並行読書から、「不思議な出来事」が起きる本について紹介することができる。(言葉の世界を広げる)</p> <p>◆国語と「てつがく」をつなぐ要素：並行読書や体験より「ふしぎなこと」について、様々な視点で自分の感じたことや考えたことを表現し伝え合う。</p> <p>◆本時のめあて</p> <p>○「ふしぎなことについて意見を出し合い、問い作りをする。」</p>		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項
【導入】 (5分)	※「てつがく」の学習について紹介する。 ○国語の学習や並行読書、自己のふしぎ体験等から、「ふしぎなこと」について、イメージを広げる。	<ul style="list-style-type: none"> 6年生の事例紹介 国語の学習の想起から、「ふしぎだなあ」と思うことへの興味をもたせる。
【展開】 課題把握	<p>1 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ふしぎだなあ」と思うことを自由に出し合い、身の回りの「ふしぎなこと」から、話し合いたい“問いづくり”をしよう。</p> </div> <p>・見通し</p> <p>・シラバス</p> <p>(5分)</p> <p>全体対話① (20分)</p> <p>全体対話② (10分)</p> <p>2 「ふしぎだなあ」と思うことを自由に出し合う。(サークル)</p> <p>◆国語の内容や読んだ本の内容、身の回りのことなどから、自分のふしぎを伝え合う。不思議体験等、自分がふしぎと思うことなら何でもOKとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて適宜ペアやGを入れる 全員発表をめざす。 <p>3 出てきた(ふしぎ)について、もっとみんなの意見を聞いてみたい、もっと深く話したい、考えたい内容について話し合い、問いを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇マインドマップを活用した支援</p> <p>◇必要に応じ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の意味の問い返し 具体的な内容とつなぐ そう考える理由を問う 友だちの意見との関係性を促す </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「問い」を共通理解 マインドマップに整理していく(板書：教師) 友達の見解を否定しないことを伝える。(うん、うん、ふーん、なるほど・・・) ふしぎ発表会にならないよう、つなぎ言葉の確認をしておく(他教科指導活用) 教師：どのような問い作りになるか模索しながらマネジメントする。 *子どもの発言からポジティブに考えられそうなものになるよう配慮する。 ※初めての学びであるため
【終末】 振り返り (5分)	4 学習したことを振り返る。(原稿用紙300字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の思考が確認できるようにする。

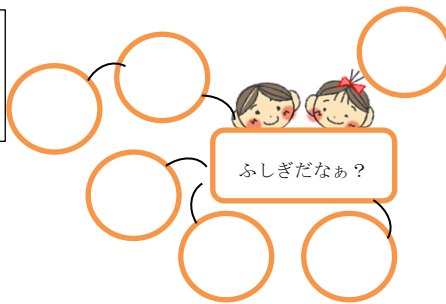
板書計画

てつがくの学習

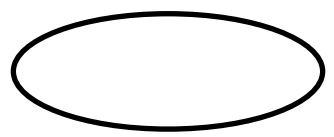
「ふしぎだなあ」と思うことを自由に出し合い、身の回りの「ふしぎなこと」から、話し合いたい“問いづくり”をしよう。

- 出てきた？についてみんなで考えてみる
 - 対話をしながら考える
 - 人によって見方や考え方がちがう
- ～みんなちがってみんないい～だからおもしろい！

「てつがく」の学びとは



3B
はじめてのてつがくの問い



月日 (校時)	価値内容	教材名
7月16日 (火) 1/2 17日 (水) 2/2 4校時	自己、他者	ふしぎなことってどんなこと？ ～ご先祖様の始まりは？～
<p>◆教科等との関連</p> <p>○国語科：「もうすぐ雨に」9H*「不思議な出来事」が起きる本の並行読書から、「不思議な出来事」が起きる本について紹介することができる。(言葉の世界を広げる)</p> <p>◆国語と「てつがく」をつなぐ要素：並行読書や体験より「ふしぎなこと」について、様々な視点で自分の感じたことや考えたことを表現し伝え合う。</p> <p>◆本時のめあて</p> <p>○「ご先祖様の始まりは？」について、友達との対話を通して考えたり気付いたことをもとに考えを深めたり広げたりしながら、自分の考えをもてるようにする。</p>		
学習課程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項
【導入】 (5分)	○前時の振り返り (ペア振り返り) ○みんなで作った問い「ご先祖様の始まりは？」について、友達との対話を通して考え合うことを確認する。 ○そもそも、「ご先祖様って？」 『問い』に対する揺さぶりから興味を引き出す。	・てつがくのねらいである自己の変容がゴールであることのイメージを掴ませる。 ・「そもそも..」「いつごろ？」 「それはどうして？」
【展開】 課題把握 (5分)	1 課題を 把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 「ご先祖様のはじまりは？」について、ふしぎに思うことや考えたことを自由に出し合ったり、質問をしたりしながら (対話)、自分の考えをもとう。</p> </div> <p>【約束】・どんな意見も否定しない (そんなのおかしい、間違いだ等) ・友達の見解とつなぎながら発言できるようにする。 ・反応をしながら考える (うんうん、なるほど、～そういうことかあ、理由は何かな?等)</p> <p>◆ゴールは、「ご先祖様のはじまりは？」について、自分の考えを振り返りカードに書く</p> <p>◆1. 「ご先祖様のはじまりは？」について、自分の考えを伝える 2. 友達の考えに質問したり、自分の考えを付け加えたりする 3. 自分の考えをまとめる。</p>	・サークル対話の形で行う。 ・教師は、同サークルに入りコーディネートする。
・見通し ・シラバス	◆ゴールは、「ご先祖様のはじまりは？」について、自分の考えを振り返りカードに書く	・自分の意見ばかりが続かないようにつなぎ言葉の確認を促す。 ・必ず理由を伝える。
全体対話 (20分)	2 「ご先祖様のはじまりは？」について自分の考えを 自由に出し合う。 (サークル対話) ・状況に応じて適宜ペアやGを入れる ・全員発表をめざす。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇必要に応じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味の問い返し 具体的な内容とつなぐ・そう考える理由を問う ・友だちの意見との関係性を促す ・必要に応じたシンプルな板書 (引っ張らないように配慮、かつ思考補助に) </div>	
【終末】 振り返り (10分)	3 学習したことを 振り返る。 ・友達の見解で納得したこと、自分の考えが変わったこと、さらに疑問がわいてきたことなどの視点をもたせる。 ※補助活動：昼食時の読み聞かせ「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」長谷川義史作	・数人に発表させる。 ・一人一人の思考が確認できるようにする。

板書計画

てつがくの学習

- ・出てきた？についてみんなで考えてみる
- ・対話をしながら考える
- ・人によって見方や考え方がちがう
～みんなちがってみんないい～だからおもしろい！

① 「ご先祖様のはじまりは？」について、ふしぎに思うことや考えたことを自由に出し合ったり、質問をしたりしながら (対話)、自分の考えをもとう。



ご先祖様のはじまりは？

「てつがく」の学びとは



指導：「ふしぎなこと」から、みんながつくった「問い」
【ご先祖様のはじまりは？】



⑤ 視点：納得したこと
考えたこと
疑問に思ったこと
自分の考えが変わったこと